（別冊）主要債権別の中期目標と具体的取組など

主要６債権の中期目標・・・・・Ｐ２
その他主要債権の中期目標・・・Ｐ８

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	保険年金課	債権整理番号	026	債権区分	強制公	債権名	国民健康保険料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

7,684,715	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

各区における収納対策に取り組み、徴収率を引き上げることにより、繰越未収金の減額に努め、未収金残高の圧縮を図る。

（２）中期目標達成のための具体的取組

現年度分保険料については、各区における初期未納対策及び滞納処分の早期着手等に取り組み、目標収納率の確保及び向上に努め、繰越未収金の金額圧縮を図る。
また、過年度分保険料については、財産調査の結果や納付相談・指導の内容を考慮し「回収できる保険料」の滞納処分に集中できるよう、「回収できない保険料」についての執行停止の判断を適切に行い、未収金の圧縮に努める。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	9,622,337	230,771	9,391,566	2,366,672	2,282,287	4,879,730	25.2%	50.7%	4,742,607	56,780,138	52,667,928	0	52,667,928	92.8%	92.8%	4,112,210	83.2%	86.7%	8,854,817
B	令和6年度当初目標	8,854,817	219,953	8,634,864	2,175,986	2,100,787	4,496,726	25.2%	50.8%	4,358,091	60,554,682	56,194,745	0	56,194,745	92.8%	92.8%	4,359,937	84.4%	87.4%	8,718,028
C	令和7年度計画	8,718,028	310,498	8,407,530	2,183,388	2,000,801	4,494,687	26.0%	51.6%	4,223,341	60,554,682	56,340,290	0	56,340,290	93.0%	93.0%	4,214,392	84.9%	87.8%	8,437,733
D	令和8年度計画	8,437,733	349,558	8,088,175	2,173,724	1,917,311	4,440,593	26.9%	52.6%	3,997,140	60,554,682	56,485,836	0	56,485,836	93.3%	93.3%	4,068,846	85.5%	88.3%	8,065,986
E	令和9年度計画	8,065,986	308,372	7,757,614	2,144,381	1,851,819	4,304,572	27.6%	53.4%	3,761,414	60,554,682	56,631,381	0	56,631,381	93.5%	93.5%	3,923,301	86.0%	88.8%	7,684,715

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	財政局	担当	税務部収税課	債権整理番号	001	債権区分	強制公	債権名	市税

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

6,978,170	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

令和9年度に市税総計の徴収率を令和4年度決算ベースの五大市平均並みに引き上げる。

（２）中期目標達成のための具体的取組

前年度の決算状況等を踏まえて当年度の具体的取組内容を定め、重点的に取組んでいくことで、個人市民税については、令和9年度に徴収率を令和4年度決算ベースの五大市平均並みに引き上げることを目指す。なお、徴収率の向上などが計画通りに進まない場合は、原因を分析して、他の税目等への対応など、取組みを再構築する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア-ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	9,556,426	0	9,556,426	3,385,842	1,058,312	4,444,154	35.4%	46.5%	5,112,272	803,322,646	799,299,979	0	799,299,979	99.5%	99.5%	4,022,667	98.8%	98.9%	9,134,939
B	令和6年度当初目標	9,134,939	0	9,134,939	3,236,509	1,192,018	4,428,527	35.4%	48.5%	4,706,412	803,055,004	798,990,995	0	798,990,995	99.5%	99.5%	4,064,009	98.8%	98.9%	8,770,421
C	令和7年度計画	8,770,421	0	8,770,421	3,142,442	1,192,018	4,334,460	35.8%	49.4%	4,435,961	811,454,797	807,626,946	0	807,626,946	99.5%	99.5%	3,827,851	98.9%	99.0%	8,263,812
D	令和8年度計画	8,263,812	0	8,263,812	2,993,979	1,192,018	4,185,997	36.2%	50.7%	4,077,815	819,908,708	816,320,624	0	816,320,624	99.6%	99.6%	3,588,084	98.9%	99.1%	7,665,899
E	令和9年度計画	7,665,899	0	7,665,899	2,808,019	1,192,018	4,000,037	36.6%	52.2%	3,665,862	815,751,232	812,438,924	0	812,438,924	99.6%	99.6%	3,312,308	99.0%	99.2%	6,978,170

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	生活福祉部保護課（保護G）	債権整理番号	016	債権区分	強制公・非強公	債権名	生活保護費返還金（保護費収入）

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

8,303,807	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

令和5年度からは、対象債権について、全実施機関対象に令和7年度末（3年後）の目標徴収率（法第63条は金額ベースで徴収率90%、法第78条は件数ベースで徴収率90%）を定め、達成にむけて取り組んでもらうこととしている。令和4年度決算数値をベースに、各区で設定した法第63条及び法第78条徴収金の現年度（受給中）目標徴収率を設定し、現年度の廃止や過年度の徴収率については過去最高水準を目標徴収率として設定したうえで、令和5年度以降の未収金残高をシミュレーションすることで、令和9年度末の未収金残高目標を約83億円と設定する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

⑴自区及び他区申出徴収の推進…申出徴収が可能である債権について、申出徴収がされていないものをリストアップし、区配する。四半期ごとに課長会等で実施率を算出し、課長会等で周知。
⑵滞納処分の推進…各実施機関からの債権の引継ぎ状況を継続的に把握しながら、保護廃止債務者に対する滞納処分を引き続き進め、財産の差押又は滞納処分の停止による早期整理を進める。
⑶相続人不存在債権にかかる即時消滅及び債権放棄…令和6年度より被保護者の死亡に伴って生じる各種事務手続きを補助する会計年度任用職員を雇用したいと考えており、早期に相続人を確定させ、相続人不存在の債権については即時消滅又は債権放棄により即時欠損を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア−ウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ−(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’− (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	8,803,940	▲ 240,399	9,044,339	351,988	892,142	1,003,731	3.9%	11.4%	7,800,209	3,443,590	2,441,973	0	2,441,973	70.9%	70.9%	1,001,617	22.4%	28.1%	8,801,826
B	令和6年度当初目標	8,801,826	▲ 240,100	9,041,926	346,125	969,095	1,075,120	3.8%	12.2%	7,726,706	3,442,264	2,464,055	0	2,464,055	71.6%	71.6%	978,209	22.5%	28.9%	8,704,915
C	令和7年度計画	8,704,915	▲ 239,035	8,943,950	344,691	917,735	1,023,391	3.9%	11.8%	7,681,524	3,440,983	2,490,880	0	2,490,880	72.4%	72.4%	950,103	22.9%	28.9%	8,631,627
D	令和8年度計画	8,631,627	▲ 240,156	8,871,783	342,206	964,298	1,066,348	3.9%	12.4%	7,565,279	3,322,794	2,392,959	0	2,392,959	72.0%	72.0%	929,835	22.4%	28.9%	8,495,114
E	令和9年度計画	8,495,114	▲ 240,100	8,735,214	348,502	934,640	1,043,042	4.0%	12.3%	7,452,072	3,194,893	2,343,158	0	2,343,158	73.3%	73.3%	851,735	22.6%	29.0%	8,303,807

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	介護保険課	債権整理番号	064	債権区分	強制公	債権名	介護保険料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

1,366,739	千円

２．中期目標の考え方など　　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に未収金残高の削減が進んでいることから、現在実施している取り組みを継続し、目標徴収率の達成を目指す。

（２）中期目標達成のための具体的取組

①滞納処分の実施を見据えた滞納者への徴収強化
　第１段階（生活保護費受給者等）を除くすべての段階（非課税層を含む）の滞納者について、財産調査を徹底し、差押を実施するなど滞納保険料の徴収強化を図る。
②民間委託業者の訪問徴収等の納付督励による早期滞納者等の徴収強化
　65歳到達による資格取得後、特別徴収（年金から介護保険料を徴収）が開始されるまでの早期滞納者への電話・訪問等の納付督励を行う。
③各区による早期滞納者・高額滞納者への徴収強化
　年間を3期に分けて実施する収納対策を行う。滞納状況・納付状況を分析し、各区において納付督励文書や差押予告等を送付し、積極的に滞納者との接触を図る。また、市債権回収対策室と連携し、最終催告書を送付するなど徴収強化を図る。
④被保険者資格の適正化
　不現住者に対する被保険者資格の適正化により、不現住と疑われる者への速やかな現地調査の実施並びに住民基本台帳の職権消除依頼を行い、不必要な保険料賦課の削減を行う。
⑤時効間近の滞納保険料に対する納付勧奨
　2年の時効を迎える滞納保険料に対し、年2回催告書及び納付勧奨文書の送付を行う。
⑥滞納処分の停止について
本市の滞納処分の停止基準に定めた要件を満たす場合は、順次、滞納処分の停止を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア−ウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ−(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’− (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ＋ケ’
A	令和5年度修正目標	1,441,139	5,946	1,435,193	262,641	520,689	789,276	18.3%	54.8%	651,863	54,836,137	54,068,432	0	54,068,432	98.6%	98.6%	767,705	96.6%	97.5%	1,419,568
B	令和6年度当初目標	1,419,568	5,857	1,413,711	258,710	520,689	785,256	18.3%	55.3%	634,312	54,836,137	54,068,432	0	54,068,432	98.6%	98.6%	767,705	96.6%	97.5%	1,402,017
C	令和7年度計画	1,402,017	5,748	1,396,269	255,518	520,689	781,955	18.3%	55.8%	620,062	54,836,137	54,068,432	0	54,068,432	98.6%	98.6%	767,705	96.6%	97.5%	1,387,767
D	令和8年度計画	1,387,767	5,689	1,382,078	252,921	520,689	779,299	18.3%	56.2%	608,468	54,836,137	54,068,432	0	54,068,432	98.6%	98.6%	767,705	96.6%	97.6%	1,376,173
E	令和9年度計画	1,376,173	5,642	1,370,531	250,808	520,689	777,139	18.3%	56.5%	599,034	54,836,137	54,068,432	0	54,068,432	98.6%	98.6%	767,705	96.6%	97.6%	1,366,739

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	都市整備局	担当	住宅部管理課	債権整理番号	001	債権区分	非強公	債権名	住宅使用料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

359,309	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に削減が進んでいるため、令和5年度修正目標の徴収率、整理率を維持する。
過年度については、徴収困難な債権は適正に不納欠損処理を行う。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・滞納初期の段階から督促等による納付指導を行いつつ、支払いが困難なものに対しては区役所等の福祉窓口への案内、各種制度紹介などを交えながらきめ細かい対応を行う。
・滞納期間3ヶ月以上で明渡し対象となったものについては、明渡訴訟移行前に訪問員による支払指導や即決和解の手続きへ誘導するなど細やかな対応を行っていく。
・口座振替普及率の向上のため勧奨強化を行う。
・徴収困難な債権は、徴収・調査を継続すべきか整理債権とすべきかを精査し、時効を経過した債権は不納欠損処理を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	368,722	1	368,721	102,504	38,000	140,505	27.8%	38.1%	228,217	37,094,444	36,957,195	0	36,957,195	99.6%	99.6%	137,249	98.9%	99.0%	365,466
B	令和6年度当初目標	365,466	0	365,466	101,600	38,000	139,600	27.8%	38.2%	225,866	37,094,444	36,957,195	0	36,957,195	99.6%	99.6%	137,249	98.9%	99.0%	363,115
C	令和7年度計画	363,115	0	363,115	100,946	38,000	138,946	27.8%	38.3%	224,169	37,094,444	36,957,195	0	36,957,195	99.6%	99.6%	137,249	98.9%	99.0%	361,418
D	令和8年度計画	361,418	0	361,418	100,474	38,000	138,474	27.8%	38.3%	222,944	37,094,444	36,957,195	0	36,957,195	99.6%	99.6%	137,249	98.9%	99.0%	360,193
E	令和9年度計画	360,193	0	360,193	100,133	38,000	138,133	27.8%	38.3%	222,060	37,094,444	36,957,195	0	36,957,195	99.6%	99.6%	137,249	98.9%	99.0%	359,309

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	こども青少年局	担当	幼保企画課	債権整理番号	030	債権区分	強制公	債権名	保育所保育料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

85,954	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

更なる未収金残高の圧縮に取り組み、徴収率99.2%（政令市平均）を目指す。

（２）中期目標達成のための具体的取組

口座振替普及率の向上及び電話催告などによる早期接触を図る。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	188,556	0	188,556	84,850	11,000	95,850	45.0%	50.8%	92,706	5,636,895	5,545,704	0	5,545,704	98.4%	98.4%	91,191	96.7%	96.8%	183,897
B	令和6年度当初目標	183,897	0	183,897	82,753	10,000	92,753	45.0%	50.4%	91,144	4,926,225	4,847,405	0	4,847,405	98.4%	98.4%	78,820	96.5%	96.7%	169,964
C	令和7年度計画	169,964	0	169,964	76,483	9,599	86,082	45.0%	50.6%	83,882	4,051,363	3,994,644	0	3,994,644	98.6%	98.6%	56,719	96.4%	96.7%	140,601
D	令和8年度計画	140,601	0	140,601	63,270	9,000	72,270	45.0%	51.4%	68,331	4,051,363	4,006,798	0	4,006,798	98.9%	98.9%	44,565	97.1%	97.3%	112,896
E	令和9年度計画	112,896	0	112,896	50,803	8,550	59,353	45.0%	52.6%	53,543	4,051,363	4,018,952	0	4,018,952	99.2%	99.2%	32,411	97.7%	97.9%	85,954

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	危機管理室	担当(課)	危機管理課	債権整理番号	001	債権区分	私債権	債権名	災害援護資金貸付金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

0	千円

２．中期目標の考え方など

…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

（２）中期目標達成のための具体的取組

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア−ウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’− (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	33,388	0	33,388	102	33,286	33,388	0.3%	100.0%	0	0	0	0	0	—	—	0	0.3%	100.0%	0
B	令和6年度当初目標	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	—	—	0	—	—	0
C	令和7年度計画	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	—	—	0	—	—	0
D	令和8年度計画	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	—	—	0	—	—	0
E	令和9年度計画	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	—	—	0	—	—	0

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	生活福祉部保険年金課（収納G）	債権整理番号	036	債権区分	強制公	債権名	後期高齢者医療保険料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

400,532	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

団塊の世代の後期移行に伴う被保険者数の増を踏まえ、効果的・効率的な収納対策を行い、新たな未納を抑制するとともに、未収金残高を増やさない取組みを強化する。
また、滞納繰越分については、長期・高額化とならないよう早期の収納対策及び滞納処分を行い、未収金残高を減少させていく。

（２）中期目標達成のための具体的取組

新規加入者に対し、加入当初は普通徴収になるという仕組みを周知し、口座振替の申請を早期に勧奨する。督促状や催告書等を発送する際は、滞納状況に応じて「最終催告」など文面を変更するほか、封筒・同封ビラのカラー化、「重要」などのスタンプで確実に見ていただけるよう工夫し、初期未納を増やさない取組みを強化する。
その上で滞納が続いている者には、早期に財産調査を実施し、差押予告を送付し、自主納付を促す。なお、納付資力があるにもかかわらず保険料を納めない滞納者には、速やかに滞納処分を行い、未収金の長期・高額化を防ぐ。
また、滞納処分を行う財産も納付する資力もないことが明らかな場合には、執行停止を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア-ウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	456,567	0	456,567	163,451	95,317	258,768	35.8%	56.7%	197,799	28,444,930	28,217,371	0	28,217,371	99.2%	99.2%	227,559	98.2%	98.5%	425,358
B	令和6年度当初目標	425,358	0	425,358	152,278	97,895	250,173	35.8%	58.8%	175,185	29,184,498	28,951,022	0	28,951,022	99.2%	99.2%	233,476	98.3%	98.6%	408,661
C	令和7年度計画	408,661	0	408,661	146,301	97,944	244,245	35.8%	59.8%	164,416	29,709,819	29,472,140	0	29,472,140	99.2%	99.2%	237,679	98.3%	98.7%	402,095
D	令和8年度計画	402,095	0	402,095	143,950	97,052	241,002	35.8%	59.9%	161,093	29,977,207	29,737,389	0	29,737,389	99.2%	99.2%	239,818	98.4%	98.7%	400,911
E	令和9年度計画	400,911	0	400,911	143,526	97,630	241,156	35.8%	60.2%	159,755	30,097,116	29,856,339	0	29,856,339	99.2%	99.2%	240,777	98.4%	98.7%	400,532

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	生活福祉部保護課(医療G)	債権整理番号	017	債権区分	非強公	債権名	生活保護法指定医療機関等返還金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

79,574	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

・債権の状況に応じた適切な管理を行い、有効な請求方法の検討や不納欠損による処理を活用し債権の圧縮を進める。
・返還金発生時は速やかに対応し、新たな債権の発生を防止する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・令和4年度に1債権で462,737千円の案件が発生したが、民事再生計画中の債権で令和6年度不納欠損に計上見込。
・債権が高額なことで分割納付が長期化している債権については年間返還額の見直し協議等を行う等、長期化を極力防ぐことで未収額の圧縮に努め、返還金発生事実確認後は対象医療機関等に対して速やかに返還請求を行うと同時に必ず納付期限までに納付するよう連絡を行う。また、返還対象額が高額である場合等一括納付が困難な事案について本市他制度の債権がある場合は、他制度担当や他自治体とも連携し早期での完納を原則とした分割納付計画を立てることとし、計画的な納付指導を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	492,292	0	492,292	7,647	26,000	33,647	1.6%	6.8%	458,645	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.6%	6.9%	458,669
B	令和6年度当初目標	458,669	0	458,669	4,310	362,670	366,980	0.9%	80.0%	91,689	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.0%	80.0%	91,713
C	令和7年度計画	91,713	0	91,713	4,310	0	4,310	4.7%	4.7%	87,403	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	5.2%	5.2%	87,427
D	令和8年度計画	87,427	0	87,427	4,310	0	4,310	4.9%	4.9%	83,117	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	5.4%	5.4%	83,141
E	令和9年度計画	83,141	0	83,141	3,591	0	3,591	4.3%	4.3%	79,550	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	4.8%	4.8%	79,574

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	保険年金課	債権整理番号	027	債権区分	強制公	債権名	国民健康保険料（不現住）

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

172,888	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

各区における収納対策に取り組み、徴収率を引き上げることにより、繰越未収金の減額に努め、保険料全体の未収金残高の圧縮を図る。

（２）中期目標達成のための具体的取組

保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	179,386	12,106	167,280	0	59,108	71,214	0.0%	39.7%	108,172	87,197	0	0	0	0.0%	0.0%	87,197	0.0%	26.7%	195,369
B	令和6年度当初目標	195,369	41,567	153,802	0	64,374	105,941	0.0%	54.2%	89,428	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	36.7%	182,421
C	令和7年度計画	182,421	32,669	149,752	0	60,108	92,777	0.0%	50.9%	89,644	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	33.7%	182,637
D	令和8年度計画	182,637	38,573	144,064	0	60,179	98,752	0.0%	54.1%	83,885	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	35.8%	176,878
E	令和9年度計画	176,878	38,702	138,176	0	58,281	96,983	0.0%	54.8%	79,895	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	35.9%	172,888

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	保険年金課	債権整理番号	029・030	債権区分	私債権	債権名	国民健康保険給付費返還金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

216,145	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

近年削減方向で推移しているため、直近の削減率を維持していく。

（２）中期目標達成のための具体的取組

高額債権については、支払督促の手続きを検討していく。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	388,975	0	388,975	72,111	25,675	97,786	18.5%	25.1%	291,189	450,000	365,850	0	365,850	81.3%	81.3%	84,150	52.2%	55.3%	375,339
B	令和6年度当初目標	375,339	0	375,339	68,511	139,671	208,182	18.3%	55.5%	167,157	450,000	365,850	0	365,850	81.3%	81.3%	84,150	52.6%	69.6%	251,307
C	令和7年度計画	251,307	0	251,307	67,203	23,571	90,774	26.7%	36.1%	160,533	427,500	347,558	0	347,558	81.3%	81.3%	79,942	61.1%	64.6%	240,475
D	令和8年度計画	240,475	0	240,475	65,020	22,647	87,667	27.0%	36.5%	152,808	406,125	330,180	0	330,180	81.3%	81.3%	75,945	61.1%	64.6%	228,753
E	令和9年度計画	228,753	0	228,753	62,528	22,007	84,535	27.3%	37.0%	144,218	385,818	313,670	0	313,670	81.3%	81.3%	72,148	61.2%	64.8%	216,366

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	介護保険課	債権整理番号	066･076	債権区分	強制公･非強公	債権名	介護保険給付費不正･不当利得返還金及び加算金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

48,866	千円

２．中期目標の考え方など　　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に未収金残高の削減が進んでいることから、現在実施している取り組みを継続し、目標徴収率の達成を目指す。

（２）中期目標達成のための具体的取組

･弁護士等の助言を仰ぎつつ、引き続き納付交渉等を適切に行い、未収残高の縮減につなげる。･分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努める。
･財産調査、滞納処分を行うも時効が到来した債権については、適切に不納欠損処理をすすめる。･返還金が発生した場合は、早期に当該事業所と接触を図り一括納付をさせるよう納付交渉を行う。
･一括納付が困難な事業所においては、必要に応じて分割納付を行うなどの納付交渉を行う。納付交渉等にも応じない事業所の場合は、財産調査を行いながら、差押等の強制徴収を行う。特に悪質な事業所については、指定･指導グループとも連携し法的な手段も視野にいれて対応していく。･不正発覚から処分決定までの間、当該事業所の介護給付費の審査支払については、一旦保留する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	128,520	0	128,520	11,051	24,399	35,450	8.6%	27.6%	93,070	20,582	20,582	0	20,582	100.0%	100.0%	0	21.2%	37.6%	93,070
B	令和6年度当初目標	93,070	0	93,070	11,051	0	11,051	11.9%	11.9%	82,019	20,582	20,582	0	20,582	100.0%	100.0%	0	27.8%	27.8%	82,019
C	令和7年度計画	82,019	0	82,019	11,051	0	11,051	13.5%	13.5%	70,968	20,582	20,582	0	20,582	100.0%	100.0%	0	30.8%	30.8%	70,968
D	令和8年度計画	70,968	0	70,968	11,051	0	11,051	15.6%	15.6%	59,917	20,582	20,582	0	20,582	100.0%	100.0%	0	34.6%	34.6%	59,917
E	令和9年度計画	59,917	0	59,917	11,051	0	11,051	18.4%	18.4%	48,866	20,582	20,582	0	20,582	100.0%	100.0%	0	39.3%	39.3%	48,866

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	地域福祉課	債権整理番号	004	債権区分	私債権	債権名	大学奨学金貸付金返還金収入

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

26,682	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

未収金残高の削減が進んでいるため、引き続き、各年度において前年度よりも残高を減少させる。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・接触困難者について、電話、文書、訪問をねばり強く実施し債務の返済につなげる。
・滞納状態が続き、督促や履行延期の申請勧奨に応じない悪質な債務者に対しては、法的措置を実施する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	30,654	1,107	29,547	1,040	0	2,147	3.5%	7.0%	28,507	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	27.7%	29.6%	30,045
B	令和6年度当初目標	30,045	2,829	27,216	1,040	0	3,869	3.8%	12.9%	26,176	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	29.4%	34.1%	27,714
C	令和7年度計画	27,714	0	27,714	1,585	891	2,476	5.7%	8.9%	25,238	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	30.4%	32.6%	26,776
D	令和8年度計画	26,776	0	26,776	1,585	0	1,585	5.9%	5.9%	25,191	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	31.1%	31.1%	26,729
E	令和9年度計画	26,729	0	26,729	1,585	0	1,585	5.9%	5.9%	25,144	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	31.1%	31.1%	26,682

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	福祉局	担当	障がい支援課	債権整理番号	045	債権区分	強制公	債権名	居宅介護給付費返還金（居宅生活支援費返還金）

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

33,313	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

現在の分納額から増額により残高を削減する。また、返済が滞ている債権に対しては、分納の再開により残高を削減する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

分納中の債権については、分納額の増額を求めるとともに、分納が滞らないよう継続して納付交渉を行っていく。
分納が滞っている債権については、居所調査や財産調査を行い、債務者の状況を確認する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	63,239	0	63,239	720	26,326	27,046	1.1%	42.8%	36,193	0	0	0	0	—	—	0	1.1%	42.8%	36,193
B	令和6年度当初目標	36,193	0	36,193	720	0	720	2.0%	2.0%	35,473	0	0	0	0	—	—	0	2.0%	2.0%	35,473
C	令和7年度計画	35,473	0	35,473	720	0	720	2.0%	2.0%	34,753	0	0	0	0	—	—	0	2.0%	2.0%	34,753
D	令和8年度計画	34,753	0	34,753	720	0	720	2.1%	2.1%	34,033	0	0	0	0	—	—	0	2.1%	2.1%	34,033
E	令和9年度計画	34,033	0	34,033	720	0	720	2.1%	2.1%	33,313	0	0	0	0	—	—	0	2.1%	2.1%	33,313

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	契約管財局	担当	管財部管財課賃貸グループ	債権整理番号	003	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

61,673	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

未収金が増加傾向となった平成26年度時点の未収金残高を令和13年度末の長期目標に据え、今後の取組の強化を踏まえて令和9年度目標値を設定する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・現年度分については、初期対応として文書や電話等により積極的な督促を行い、徴収率を98%に上げる。
・過年度分については、滞納案件ごとの法律相談及び法的措置を含めた効果的な対応を実施し、徴収率17%を維持する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	75,741	0	75,741	9,000	0	9,000	11.9%	11.9%	66,741	421,223	412,799	0	412,799	98.0%	98.0%	8,424	84.9%	84.9%	75,165
B	令和6年度当初目標	75,165	0	75,165	9,000	0	9,000	12.0%	12.0%	66,165	408,223	400,059	0	400,059	98.0%	98.0%	8,164	84.6%	84.6%	74,329
C	令和7年度計画	74,329	0	74,329	12,636	0	12,636	17.0%	17.0%	61,693	395,223	387,319	0	387,319	98.0%	98.0%	7,904	85.2%	85.2%	69,597
D	令和8年度計画	69,597	0	69,597	11,832	0	11,832	17.0%	17.0%	57,765	382,223	374,579	0	374,579	98.0%	98.0%	7,644	85.5%	85.5%	65,409
E	令和9年度計画	65,409	0	65,409	11,120	0	11,120	17.0%	17.0%	54,289	369,223	361,839	0	361,839	98.0%	98.0%	7,384	85.8%	85.8%	61,673

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	こども青少年局	担当	こども家庭課	債権整理番号	180	債権区分	私債権	債権名	母子父子寡婦福祉貸付金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

529,987	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に削減が進んでいるため、直近3ヶ年の平均削減率を維持する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

現年度の未収金対策として、修学資金等の資金について、償還開始前に区で債務者等の面談で償還の意識づけをする取組みを行い、また積極的に口座振替を勧奨、償還開始直後に滞納が発生した場合に即座に催告、納付交渉を行っていく。
過年度の未収金対策として、償還促進月間において、各区において連帯保証人を含めた納付交渉を行い滞納解消を図るとともに、引き続き、サービサー（債権回収業者）による債権回収を行い、訪問による直接交渉に重点を置きながら早期納付を求めていく。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	606,138	0	606,138	44,729	0	44,729	7.4%	7.4%	561,409	238,478	211,136	0	211,136	88.5%	88.5%	27,342	30.3%	30.3%	588,751
B	令和6年度当初目標	588,751	0	588,751	43,419	0	43,419	7.4%	7.4%	545,332	238,951	211,772	0	211,772	88.6%	88.6%	27,179	30.8%	30.8%	572,511
C	令和7年度計画	572,511	0	572,511	42,366	0	42,366	7.4%	7.4%	530,145	236,770	209,778	0	209,778	88.6%	88.6%	26,992	31.2%	31.2%	557,137
D	令和8年度計画	557,137	0	557,137	41,228	0	41,228	7.4%	7.4%	515,909	238,066	210,926	0	210,926	88.6%	88.6%	27,140	31.7%	31.7%	543,049
E	令和9年度計画	543,049	0	543,049	40,186	0	40,186	7.4%	7.4%	502,863	237,929	210,805	0	210,805	88.6%	88.6%	27,124	32.1%	32.1%	529,987

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	こども青少年局	担当	こども家庭課	債権整理番号	050・051	債権区分	強制公・非強公	債権名	児童扶養手当返還金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

182,050	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に削減が進んでいるため、直近2ヶ年の平均削減率を維持する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

漫然と消滅時効を経過することのないよう、滞納処分の執行停止等を行うことにより不能欠損額の削減に努める。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	190,710	35	190,675	19,209	6,762	26,006	10.1%	13.6%	164,704	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.0%	26.6%	188,431
B	令和6年度当初目標	188,431	0	188,431	19,070	6,714	25,784	10.1%	13.7%	162,647	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.1%	26.8%	186,374
C	令和7年度計画	186,374	0	186,374	18,774	6,610	25,384	10.1%	13.6%	160,990	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.2%	26.8%	184,717
D	令和8年度計画	184,717	0	184,717	18,607	6,551	25,158	10.1%	13.6%	159,559	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.3%	26.9%	183,286
E	令和9年度計画	183,286	0	183,286	18,463	6,500	24,963	10.1%	13.6%	158,323	66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727	24.4%	27.0%	182,050

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	こども青少年局	担当	こども家庭課	債権整理番号	040	債権区分	強制公	債権名	児童福祉施設徴収金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

93,945	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

直近2ヶ年の平均削減率を維持する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

現年度の未収対策として、入所時の徴収金及び口座振替等に関する説明を徹底するとともに、助産施設入所に係る徴収金については、出産育児一時金等の機会を逃さず確実にこれを徴収するように努める。
過年度の未収対策として、財産調査を実施するとともに、納付能力がある滞納者に対しては滞納処分を徹底していく。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	95,862	0	95,862	6,710	7,765	14,475	7.0%	15.1%	81,387	49,898	35,976	0	35,976	72.1%	72.1%	13,922	29.3%	34.6%	95,309
B	令和6年度当初目標	95,309	0	95,309	6,672	7,720	14,392	7.0%	15.1%	80,917	49,898	35,976	0	35,976	72.1%	72.1%	13,922	29.4%	34.7%	94,839
C	令和7年度計画	94,839	0	94,839	6,639	7,682	14,321	7.0%	15.1%	80,518	50,227	36,214	0	36,214	72.1%	72.1%	14,013	29.5%	34.8%	94,531
D	令和8年度計画	94,531	0	94,531	6,617	7,657	14,274	7.0%	15.1%	80,257	50,008	36,056	0	36,056	72.1%	72.1%	13,952	29.5%	34.8%	94,209
E	令和9年度計画	94,209	0	94,209	6,595	7,631	14,226	7.0%	15.1%	79,983	50,044	36,082	0	36,082	72.1%	72.1%	13,962	29.6%	34.9%	93,945

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	環境局	担当	斎場霊園担当	債権整理番号	006	債権区分	非強公	債権名	霊園手数料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

11,780	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

現年度分の徴収率を維持しつつ、過年度分の回収率を上昇させる。

（２）中期目標達成のための具体的取組

現年度分については戸籍調査等により債権者情報の収集を強化し、過年度分については自宅訪問等による督促を強化する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	13,729	0	13,729	2,610	1,219	3,829	19.0%	27.9%	9,900	183,778	180,100	0	180,100	98.0%	98.0%	3,678	92.5%	93.1%	13,578
B	令和6年度当初目標	13,578	0	13,578	2,610	1,090	3,700	19.2%	27.2%	9,878	241,922	238,290	0	238,290	98.5%	98.5%	3,632	94.3%	94.7%	13,510
C	令和7年度計画	13,510	0	13,510	2,610	1,090	3,700	19.3%	27.4%	9,810	193,141	190,244	0	190,244	98.5%	98.5%	2,897	93.3%	93.9%	12,707
D	令和8年度計画	12,707	0	12,707	2,610	1,090	3,700	20.5%	29.1%	9,007	220,934	217,620	0	217,620	98.5%	98.5%	3,314	94.3%	94.7%	12,321
E	令和9年度計画	12,321	0	12,321	2,610	1,090	3,700	21.2%	30.0%	8,621	210,569	207,410	0	207,410	98.5%	98.5%	3,159	94.2%	94.7%	11,780

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	都市整備局	担当	住宅部管理課	債権整理番号	002	債権区分	私債権	債権名	不正入居等損害金（市営住宅）

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

930,073	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に削減が進んでいるため、令和5年度修正目標の徴収率、整理率を維持する。
過年度については、徴収困難な債権は適正に不納欠損処理を行う。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・損害金は発生すると解消が極めて困難な債権であるため、損害金の発生を抑制する観点から、明渡訴訟移行前に出来るだけ即決和解の手続きに誘導する取り組みを実施する。
・損害金の発生抑制には滞納早期の段階での対応が有効であることから、住宅使用料の滞納により明渡請求を行った対象者（毎月）のうち滞納の解消がないものについて、請求の翌月である損害金発生月に訪問員による個別訪問指導を行う。
・徴収困難な債権は、徴収・調査を継続すべきか整理債権とすべきかを精査し、債権放棄可能な債権については債権放棄の手続きを進める。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	955,894	0	955,894	14,338	30,000	44,338	1.5%	4.6%	911,556	49,281	7,540	0	7,540	15.3%	15.3%	41,741	2.2%	5.2%	953,297
B	令和6年度当初目標	953,297	0	953,297	14,299	30,000	44,299	1.5%	4.6%	908,998	49,281	7,540	0	7,540	15.3%	15.3%	41,741	2.2%	5.2%	950,739
C	令和7年度計画	950,739	0	950,739	14,261	30,000	44,261	1.5%	4.7%	906,478	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.1%	943,746
D	令和8年度計画	943,746	0	943,746	14,156	30,000	44,156	1.5%	4.7%	899,590	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.2%	936,858
E	令和9年度計画	936,858	0	936,858	14,053	30,000	44,053	1.5%	4.7%	892,805	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.2%	930,073

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	建設局	担当	総務部経理課下水道使用料担当	債権整理番号	001	債権区分	強制公	債権名	下水道使用料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

167,638	千円

２．中期目標の考え方など　　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

・現年度において、令和5年度は基本額減額制度を行ったが令和6年度は予定していないため、一時的に調定額が増加したが、以降は緩やかな減少傾向を見込んでいる。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・水道局と連携し、初期滞納における共同督促事務を強化する。（納期内納付への転換）
・水道局委任徴収における滞納事案について、移管時期の短縮をはかり、早期に滞納整理事務を行う。　・過年度徴収率を令和４年度実績62.5%から64.0%に引き上げる。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア−ウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ−(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’− （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ＋ケ’
A	令和5年度修正目標	171,917	0	171,917	103,150	8,771	111,921	60.0%	65.1%	59,996	36,918,258	36,807,503	0	36,807,503	99.7%	99.7%	110,755	99.5%	99.5%	170,751
B	令和6年度当初目標	170,751	0	170,751	104,158	6,862	111,020	61.0%	65.0%	59,731	39,959,535	39,839,656	0	39,839,656	99.7%	99.7%	119,879	99.5%	99.6%	179,610
C	令和7年度計画	179,610	0	179,610	113,154	7,543	120,697	63.0%	67.2%	58,913	39,559,939	39,443,233	0	39,443,233	99.7%	99.7%	116,706	99.5%	99.6%	175,619
D	令和8年度計画	175,619	0	175,619	111,518	7,375	118,893	63.5%	67.7%	56,726	38,768,740	38,654,368	0	38,654,368	99.7%	99.7%	114,372	99.5%	99.6%	171,098
E	令和9年度計画	171,098	0	171,098	109,502	7,186	116,688	64.0%	68.2%	54,410	38,381,052	38,267,824	0	38,267,824	99.7%	99.7%	113,228	99.5%	99.6%	167,638

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	大阪港湾局	担当	営業推進室管財課	債権整理番号	006	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料（一般会計）

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

133,141	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

分納誓約や履行延期の特約を結んでいる債務者について、計画通りの徴収を維持する。
高額の未収金が長年解消しない債務者について、債権放棄により残高を削減する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

分納誓約や履行延期の特約を結んでいる債務者に対し、架電や訪問等を定期的に行い、納付を働きかける。
毎年取り組んでいる登記簿調査や預金調査を引き続き行い、来年度以降も無資力の状態に変わりがないものに関しては、時効完成後に債権放棄を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	141,511	0	141,511	1,726	0	1,726	1.2%	1.2%	139,785	5,199,004	5,199,004	0	5,199,004	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	139,785
B	令和6年度当初目標	139,785	0	139,785	748	0	748	0.5%	0.5%	139,037	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	139,037
C	令和7年度計画	139,037	0	139,037	233	5,197	5,430	0.2%	3.9%	133,607	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.5%	133,607
D	令和8年度計画	133,607	0	133,607	233	0	233	0.2%	0.2%	133,374	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.5%	97.5%	133,374
E	令和9年度計画	133,374	0	133,374	233	0	233	0.2%	0.2%	133,141	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.5%	97.5%	133,141

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	大阪港湾局	担当	営業推進室管財課	債権整理番号	007	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料相当損害金等

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

76,437	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

分納誓約や履行延期の特約を結んでいる債務者について、計画通りの徴収を維持する。
高額の未収金が長年解消しない債務者について、債権放棄により残高を削減する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

分納誓約や履行延期の特約を結んでいる債務者に対し、架電や訪問等を定期的に行い、納付を働きかける。
毎年取り組んでいる登記簿調査や預金調査を引き続き行い、来年度以降も無資力の状態に変わりがないものに関しては、時効完成後に債権放棄を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ （エ’＋オ’）	キ” ＝（エ＋エ’） ÷（ウ＋ウ’）	ク” ＝（カ＋カ’） ÷（ア＋ウ’）	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	82,561	0	82,561	184	0	184	0.2%	0.2%	82,377	0	0	0	0	—	—	0	0.2%	0.2%	82,377
B	令和6年度当初目標	82,377	0	82,377	151	0	151	0.2%	0.2%	82,226	0	0	0	0	—	—	0	0.2%	0.2%	82,226
C	令和7年度計画	82,226	0	82,226	0	5,789	5,789	0.0%	7.0%	76,437	0	0	0	0	—	—	0	0.0%	7.0%	76,437
D	令和8年度計画	76,437	0	76,437	0	0	0	0.0%	0.0%	76,437	0	0	0	0	—	—	0	0.0%	0.0%	76,437
E	令和9年度計画	76,437	0	76,437	0	0	0	0.0%	0.0%	76,437	0	0	0	0	—	—	0	0.0%	0.0%	76,437

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	水道局	担当	お客さまサービス課	債権整理番号	001	債権区分	私債権	債権名	給水料

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

99,177	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に削減が進んでいるため、過年度分は直近3年の平均徴収率を維持し、現年度分は令和4年度の徴収率を維持する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

まずは、未収金を増やさないことが重要であるという観点から、未収案件への早期対応と確実な停水に取り組む。
履行延期の特約等により分割納付を行っている滞納者のうち、資力が回復したと思われる滞納者に対して、積極的に督促を行う。
時効年限の迫っている案件については、債務承認書の取得など、時効の更新に努める。
滞納者の状況を精査し、回収不能な未収金については徴収停止や債権放棄の手続きを行い、適切な未収債権の整理を行う。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	136,154	0	136,154	72,298	17,155	89,453	53.1%	65.7%	46,701	55,755,765	55,692,203	0	55,692,203	99.9%	99.9%	63,562	99.8%	99.8%	110,263
B	令和6年度当初目標	110,263	0	110,263	58,550	13,893	72,443	53.1%	65.7%	37,820	60,555,120	60,486,087	0	60,486,087	99.9%	99.9%	69,033	99.8%	99.8%	106,853
C	令和7年度計画	106,853	0	106,853	56,739	13,463	70,202	53.1%	65.7%	36,651	60,280,000	60,213,692	0	60,213,692	99.9%	99.9%	66,308	99.8%	99.8%	102,959
D	令和8年度計画	102,959	0	102,959	54,671	12,973	67,644	53.1%	65.7%	35,315	59,180,000	59,114,902	0	59,114,902	99.9%	99.9%	65,098	99.8%	99.8%	100,413
E	令和9年度計画	100,413	0	100,413	53,319	12,652	65,971	53.1%	65.7%	34,442	58,850,000	58,785,265	0	58,785,265	99.9%	99.9%	64,735	99.8%	99.8%	99,177

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	教育委員会事務局	担当	学校運営支援センター学務担当	債権整理番号	002	債権区分	私債権	債権名	学校給食費

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

51,625	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

順調に削減が進んでいるため、直近3か年の平均削減率を維持する。

（２）中期目標達成のための具体的取組

年2回書面での催告を行い、催告に応じない高額未納者に対し、支払督促等の措置を積極的に行う。また現地訪問や電話催告などを実施し、債務者と直接交渉することで回収につなげる。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	109,837	0	109,837	15,048	738	15,786	13.7%	14.4%	94,051	2,597,847	2,597,840	0	2,597,840	100.0%	100.0%	7	96.5%	96.5%	94,058
B	令和6年度当初目標	94,058	0	94,058	12,887	0	12,887	13.7%	13.7%	81,171	2,597,847	2,597,840	0	2,597,840	100.0%	100.0%	7	97.0%	97.0%	81,178
C	令和7年度計画	81,178	0	81,178	11,121	741	11,862	13.7%	14.6%	69,316	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	69,316
D	令和8年度計画	69,316	0	69,316	9,496	0	9,496	13.7%	13.7%	59,820	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	97.8%	97.8%	59,820
E	令和9年度計画	59,820	0	59,820	8,195	0	8,195	13.7%	13.7%	51,625	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	98.1%	98.1%	51,625

未収金残高にかかる中期目標

債権情報

所属	教育委員会事務局	担当	総務部学事課	債権整理番号	008	債権区分	私債権	債権名	高等学校等奨学金貸付金返還金

１．未収金残高（令和９年度末）にかかる中期目標

24,611	千円

２．中期目標の考え方など　…令和6年度当初目標残高が10,000千円以上の債権のみ記載

（１）中期目標の考え方

未収金残高の削減が進んでいるため、引き続き、各年度において前年度よりも残高を減少させる。

（２）中期目標達成のための具体的取組

・接触困難者に対しては、電話、文書送付及び訪問を粘り強く実施し、債務の返済につなげる。
・滞納状態が続き、督促や履行延期の申請勧奨に応じない悪質な債務者に対しては、法的措置を実施する。

３．中期目標達成に向けた計画

（単位：千円）

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの調定繰越額	年度中の調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝アーウ （▲＝増加を表す）	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ-(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’- (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ+ケ’
A	令和5年度修正目標	40,842	4,411	36,431	1,103	663	6,177	3.0%	15.1%	34,665	8,445	6,842	0	6,842	81.0%	81.0%	1,603	17.7%	26.4%	36,268
B	令和6年度当初目標	36,268	4,410	31,858	943	0	5,353	3.0%	14.8%	30,915	8,578	6,948	0	6,948	81.0%	81.0%	1,630	19.5%	27.4%	32,545
C	令和7年度計画	32,545	4,410	28,135	973	3,048	8,431	3.5%	25.9%	24,114	8,473	6,863	0	6,863	81.0%	81.0%	1,610	21.4%	37.3%	25,724
D	令和8年度計画	25,724	1,101	24,623	973	0	2,074	4.0%	8.1%	23,650	8,499	6,884	0	6,884	81.0%	81.0%	1,615	23.7%	26.2%	25,265
E	令和9年度計画	25,265	1,300	23,965	973	0	2,273	4.1%	9.0%	22,992	8,517	6,898	0	6,898	81.0%	81.0%	1,619	24.2%	27.1%	24,611